

# 平成26年2月6日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

## 1 開催概要

- ・開催日 平成26年2月6日(木) 午前12時から午後1時まで
- ・会場 長野県庁 第3応接室
- ・参加グループ 長野県内の TOSS(※)サークルに所属する皆さん  
(※) TOSS : Teacher's Organization of Skill Sharing の略
- ・懇談内容『教員の資質向上等による子どもたちの多様な学習機会の提供について』

## 2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

### (1) いじめや不登校の予防・対応について

#### (ご意見の概要)

- ・われわれの団体で行っているいじめの発見・予防のためのアンケートを他校でも活用してはいかがか。  
また、不登校になった子どもへの対応を迅速化し、何時間以内にこのように対応するという指針を決めてはいかがか。

#### (知事の発言)

- ・アンケートについては広げて行って良いと思う。
- ・不登校児への迅速な対応も何かやることはできないかと思う。

#### (ご意見等に対する対応状況)

- ・いじめの未然防止のために、定期的なアンケート実施は有効であり、今後もより効果的なアンケート活用について考えてまいります。  
また、不登校の早期発見、早期対応が重要と考えており、日常的な行動観察、欠席状況把握、チーム支援を大切にするため、「不登校対策の行動指針(改訂版)」を作成しています。

【担当課:教育委員会事務局教学指導課心の支援室】

### (2) 就学时及び就学前検診の充実について

#### (ご意見の概要)

- ・簡単な検査でも発達障がい児童の発見ができ、具体的な対応をもって入学させることができる。就学时までの検診のシステムを構築して欲しい。

#### (知事の発言)

- ・実施主体である市町村長と話し合い、問題意識を持ってもらうようにしたい。

### (3) 授業における子どもたちへの指導について

#### (ご意見の概要)

- ・秋田県のように、教科書を基本とした授業を徹底させるべきであると思う。また現在県教委から教師向けに出されているマニュアルである、「信州ベーシック」について、もう少し基礎基本に重点を置くべきではないか。

#### (知事の発言)

- ・長野県の教育のやり方というのは、学校なり教員の自主性をすごく尊重していたと思う。かつてはそれで良かったと思うが、基礎学力を十分身に付けられていない子ども達が増える中で、同じやり方が良いのかと思う。  
教員の人達だけでなく、教育から少し離れた人や保護者等から見てどういうやり方が望ましいのかをオープンな場で検証する場が必要ではないか。

### (ご意見等に対する対応状況)

- 教科書は、教科の主たる教材であり、学習を進める上で重要な役割を果たすものとして位置付けられ、その使用は、学校教育法において義務付けられています。

各学校では、教科書を中心に、教員の創意工夫により適切な教材を交えながら学習指導が進められていると認識しています。

また、信州ベーシックは、経験の浅い教員の授業力を高めるために、より分かりやすい板書、ノートの取り方、子どもへの問題提示の仕方等、指導方法の基礎基本を具体的に示した県教委作成の指導資料であり、今後も、教科書を使用するという大前提のもと、各種研修会や校内研修において、信州ベーシックを活用しながら、教員の授業力を高め、児童生徒の学力向上につなげていきます。

**【担当課：教育委員会事務局教学指導課】**

### 3 問合せ先

総務部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp